

# 中小企業景況調査結果

2024年度 第Ⅱ期 (2024年7月～9月) …… 実績

2024年度 第Ⅲ期 (2024年10月～12月) …… 見通し

2024年10月

 福島商工会議所

# 1. 調査要綱

## (1) 景況調査について

本調査は、福島商工会議所管内の景気動向を把握するために、会員事業所を通して四半期毎の景況をアンケートの方法によって調査し、集計値をDIで表示したものである。

※DIとは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値

## (2) 今回の調査対象期間

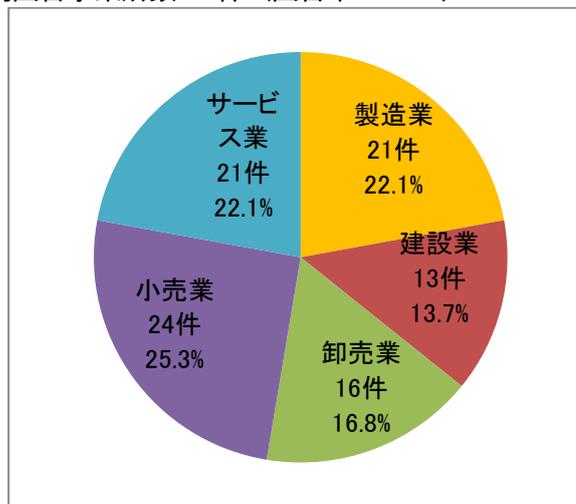
2024年度 第Ⅱ期 (2024年7月～9月) 調査期間 8月9日～9月3日

第Ⅰ期			第Ⅱ期			第Ⅲ期			第Ⅳ期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
今回実績						来期見通し					

## (3) 調査件数

福島市内会員事業所 調査対象事業所数 104件 有効回答事業所数 95件 (回答率 91.3%)

業種	有効回答事業所数	割合
製造業	21件	22.1%
建設業	13件	13.7%
卸売業	16件	16.8%
小売業	24件	25.3%
サービス業	21件	22.1%
合計	95件	100.0%



## (4) 調査内容

調査項目	比較方法	比較期間
売上	(前期比)	前期(2024年4月～6月) ⇔ 今期(2024年7月～9月)
業況	(前期比)	前期(2024年4月～6月) ⇔ 今期(2024年7月～9月)
	(今期)	今期(2024年7月～9月)
採算	(前年同期比)	前年同期(2023年7月～9月) ⇔ 今期(2024年7月～9月)
設備投資	(今期)	今期(2024年7月～9月)の実施有無と件数
従業員	(今期)	今期(2024年7月～9月)の過不足

## 2. 詳 細

### 景況感概要

今回の調査結果では、景況感としては、売上D I と業況D I が回復したものの、採算D I はマイナス幅が微増した結果となった。来期については、業況D I と採算D I とともに改善が見込まれているが、物価高騰や人手不足問題などの状況には、今後も注視していく必要があるものと思われる。

管内の設備投資については、前期比で1.7%減少の31.6%となったが、依然として全国の設備投資率を上回っており、さらに来期予測も増加する見込みとなっている。

直面する経営の問題としては、前期に続き、全業種で「原材料価格の上昇」や「仕入れ単価の上昇」が上位課題として挙げられており、物価高騰の影響が引き続き顕著な状況となっている。

また、従業員の不足は前期に比べ微増したほか、経営課題として「従業員の確保難」が全業種で上位課題となっており、依然として人手不足感が深刻な状況となっている。

(結果要約表)

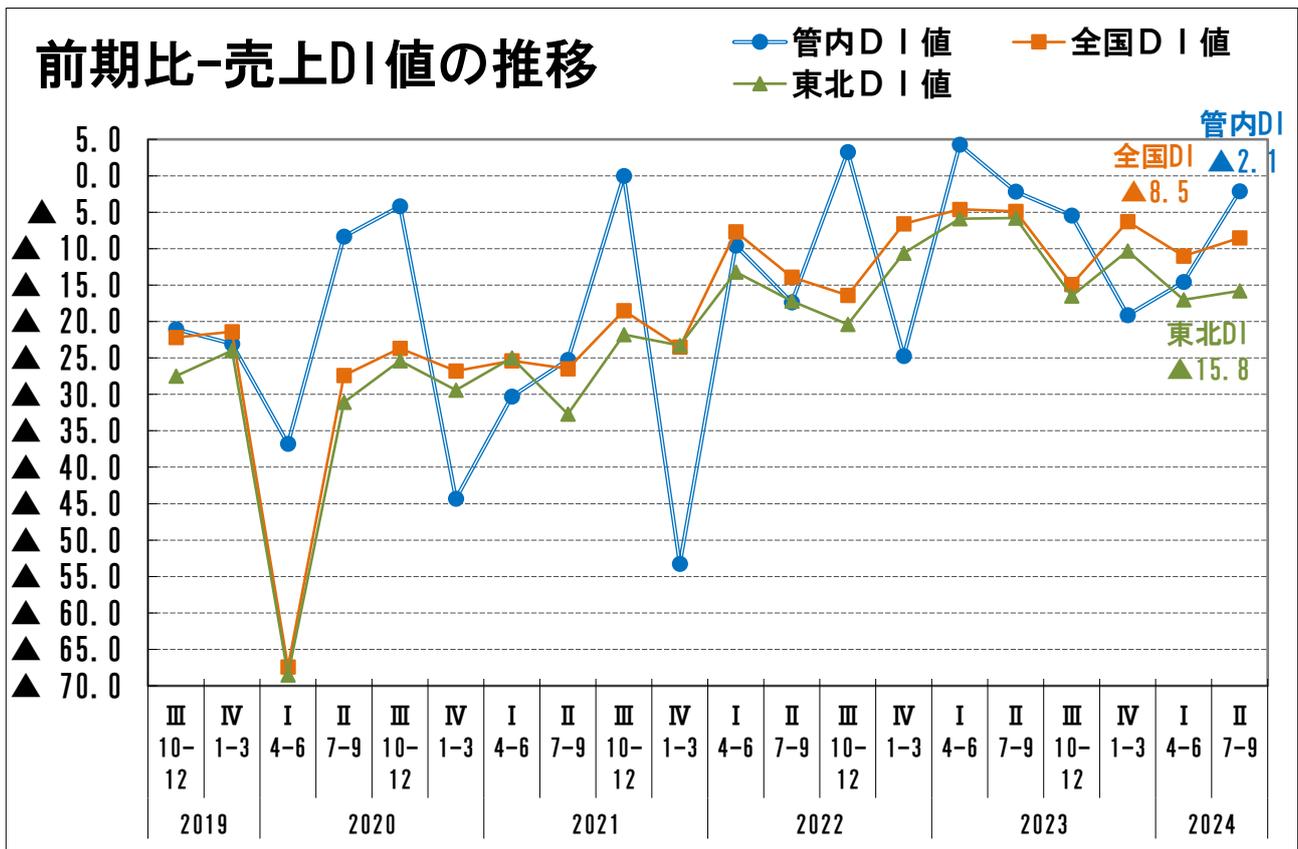
調査項目	比較方法	D I 値/割合 (前回D I 値)	状 況
売 上	(前期比)	▲ 2.1 (▲ 14.6)	・前期比12.5ポイント増加 ↑
業 況	(前期比)	▲ 7.4 (▲ 16.7)	・前期比9.3ポイント増加 ↑
	(今 期)	▲ 22.1 (▲ 27.1)	・前期比5.0ポイント増加 ↑
	(来期見通し)	0.0 (▲ 8.3)	・前期比8.3ポイント増加 ↑
採 算	(前年同期比)	▲ 15.8 (▲ 14.6)	・前期比1.2ポイント減少 ↓
	(来期見通し)	▲ 17.9 (▲ 22.9)	・前期比5.0ポイント増加 ↑
設備投資	(実施した割合)	31.6% (33.3%)	・前期から1.7ポイント減少 ↓
従 業 員	(過 剩)	7.4% ( 6.3%)	・前期から1.1ポイント増加 ↑
	(不 足)	36.8% (35.4%)	・前期から1.4ポイント増加 ↑

## 2-1. 前期比-売上DI値の推移

- 全国・東北でマイナス幅が縮小
- 管内はマイナス幅が大きく縮小

※売上DIは「増加」企業の割合から「減少」企業の割合を引いた値

調査期間	2022年度		2023年度				2024年度		前期比 増減
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	
全国DI値	▲ 16.4	▲ 6.6	▲ 4.6	▲ 4.9	▲ 14.9	▲ 6.3	▲ 11.0	▲ 8.5	2.5
東北DI値	▲ 20.4	▲ 10.6	▲ 5.9	▲ 5.8	▲ 16.5	▲ 10.3	▲ 17.0	▲ 15.8	1.2
管内DI値	3.3	▲ 24.7	4.3	▲ 2.2	5.4	▲ 19.1	▲ 14.6	▲ 2.1	12.5



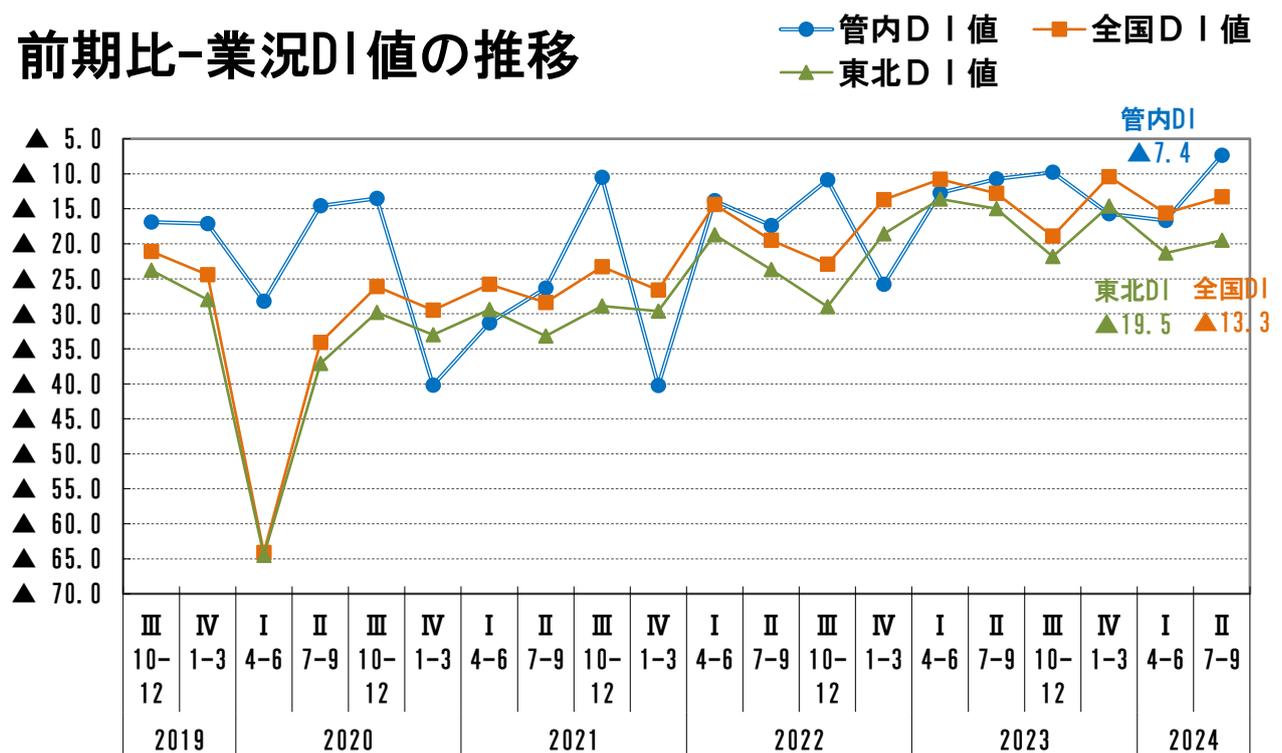
## 2-2. 前期比-業況(自社)DI値の推移

### ■全国・東北・管内全てでマイナス幅が縮小

※業況DIは景気が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値

調査期間	2022年度		2023年度				2024年度		前期比 増減
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	
全国DI値	▲ 22.9	▲ 13.7	▲ 10.8	▲ 12.8	▲ 18.9	▲ 10.4	▲ 15.6	▲ 13.3	2.3
東北DI値	▲ 29.0	▲ 18.6	▲ 13.6	▲ 15.0	▲ 21.8	▲ 14.6	▲ 21.3	▲ 19.5	1.8
管内DI値	▲ 10.9	▲ 25.8	▲ 12.8	▲ 10.8	▲ 9.8	▲ 15.7	▲ 16.7	▲ 7.4	9.3

### 前期比-業況DI値の推移

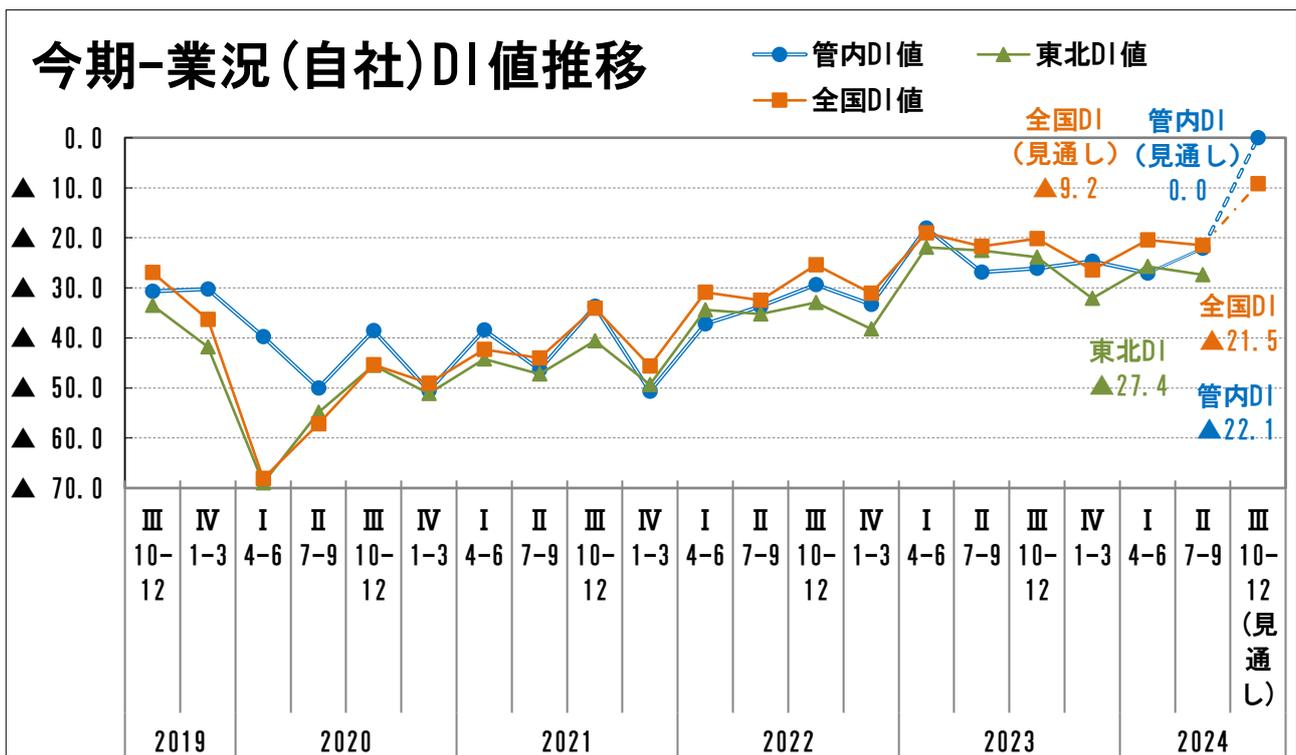


## 2-3. 今期-業況(自社)DI値の推移

- 全国・東北ではマイナス幅が拡大も、管内では減少
- 来期見通しは、全国・管内いずれも改善の見込み

※業況DIは景気が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値

調査期間	2022年度		2023年度				2024年度		
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月 (見通し)
全国DI値	▲ 25.4	▲ 31.1	▲ 19.0	▲ 21.7	▲ 20.2	▲ 26.4	▲ 20.4	▲ 21.5	▲ 9.2
東北DI値	▲ 32.9	▲ 38.2	▲ 21.9	▲ 22.5	▲ 23.9	▲ 32.1	▲ 25.7	▲ 27.4	—
管内DI値	▲ 29.3	▲ 33.3	▲ 18.1	▲ 26.9	▲ 26.1	▲ 24.7	▲ 27.1	▲ 22.1	0.0



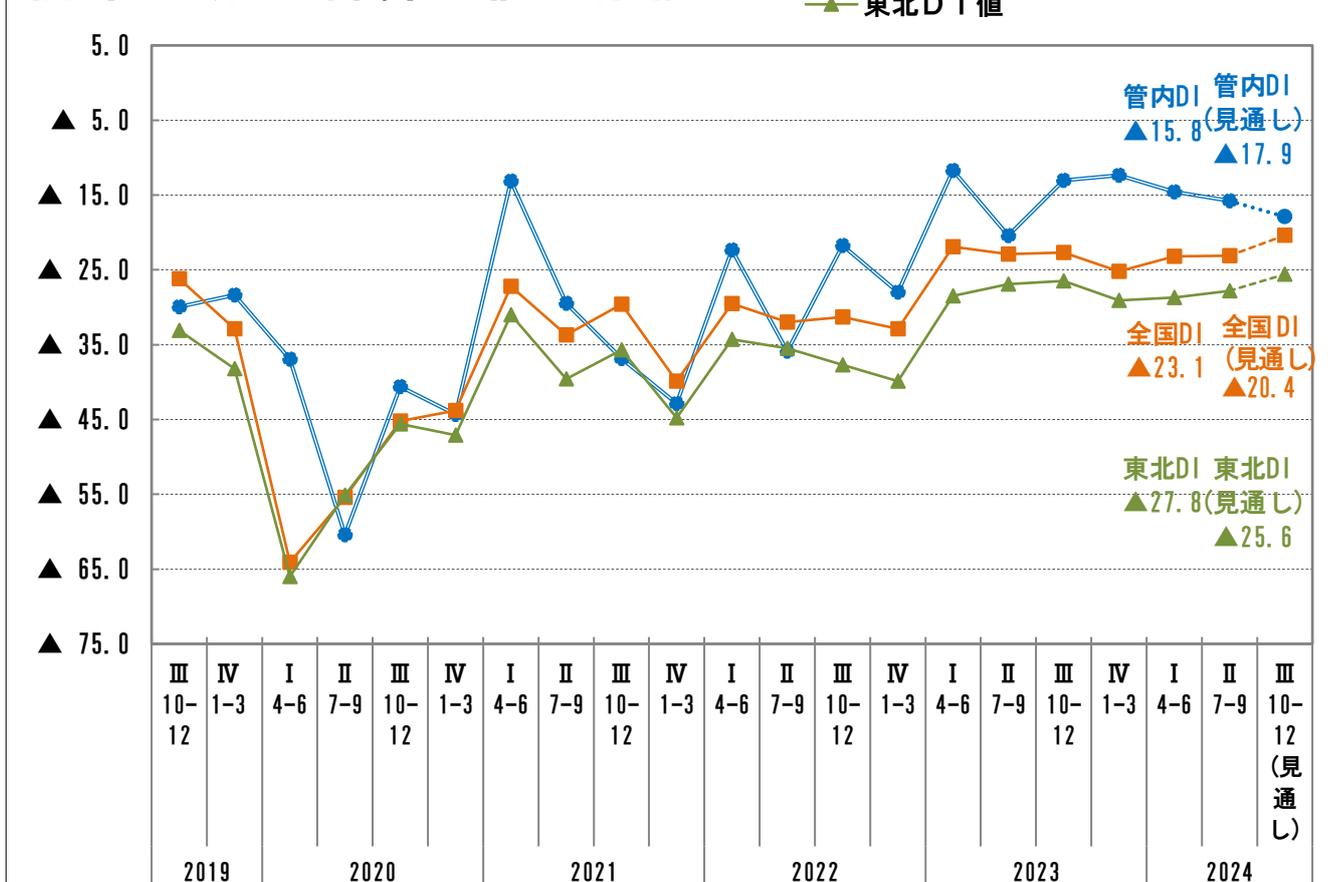
## 2-4.前年同期比-採算(経常利益)DI値の推移

- 全国・東北はマイナス幅が微減も、管内は微増
- 来期予測は、管内のみマイナス幅増加の見込み

※採算DIは、「黒字」企業の割合から「赤字」企業の割合を引いた値

調査期間	2022年度		2023年度				2024年度		
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月 (見通し)
全国DI値	▲ 31.3	▲ 32.9	▲ 21.9	▲ 22.9	▲ 22.7	▲ 25.2	▲ 23.2	▲ 23.1	▲ 20.4
東北DI値	▲ 37.7	▲ 39.9	▲ 28.5	▲ 26.9	▲ 26.5	▲ 29.1	▲ 28.7	▲ 27.8	▲ 25.6
管内DI値	▲ 21.7	▲ 28.0	▲ 11.7	▲ 20.4	▲ 13.0	▲ 12.4	▲ 14.6	▲ 15.8	▲ 17.9

### 前年同期比-採算DI値の推移

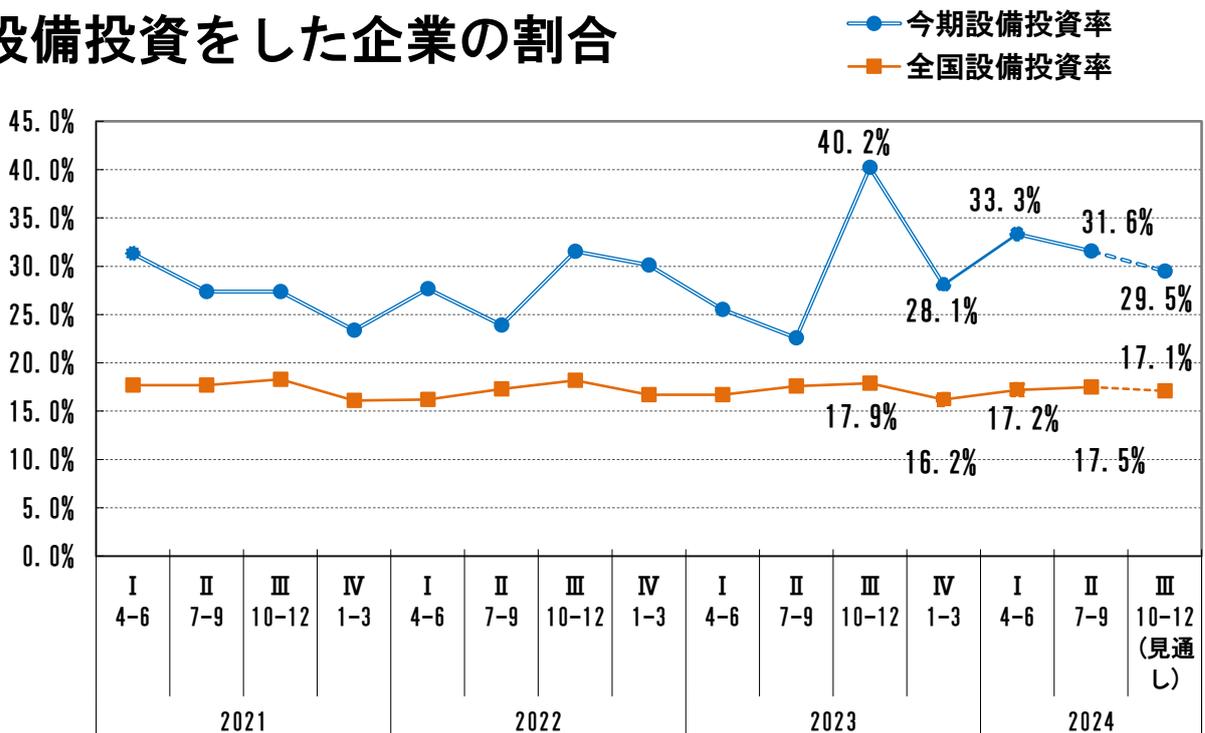


# 3. その他

## 3-1. 設備投資

- 管内で設備投資を行った件数は、実施企業 30 社（前回調査 32 社）、投資件数 42 件（前回調査 40 件）と前期より増加
- 来期の設備投資予定も増加の見込み

設備投資をした企業の割合



### ※設備投資内訳(今期・来期)

- 今期設備投資を実施した企業の主な投資項目は、「OA 機器」が 11 件、「車両・運搬具」が 10 件、「各種設備」が 7 件、「付帯施設」が 6 件となっている。
- 来期の設備投資見込みは、「建物・店舗」、「車両・運搬具」、「各種設備」、「OA 機器」、等への投資予定が多く、今期からさらに増加する見込みとなっている。

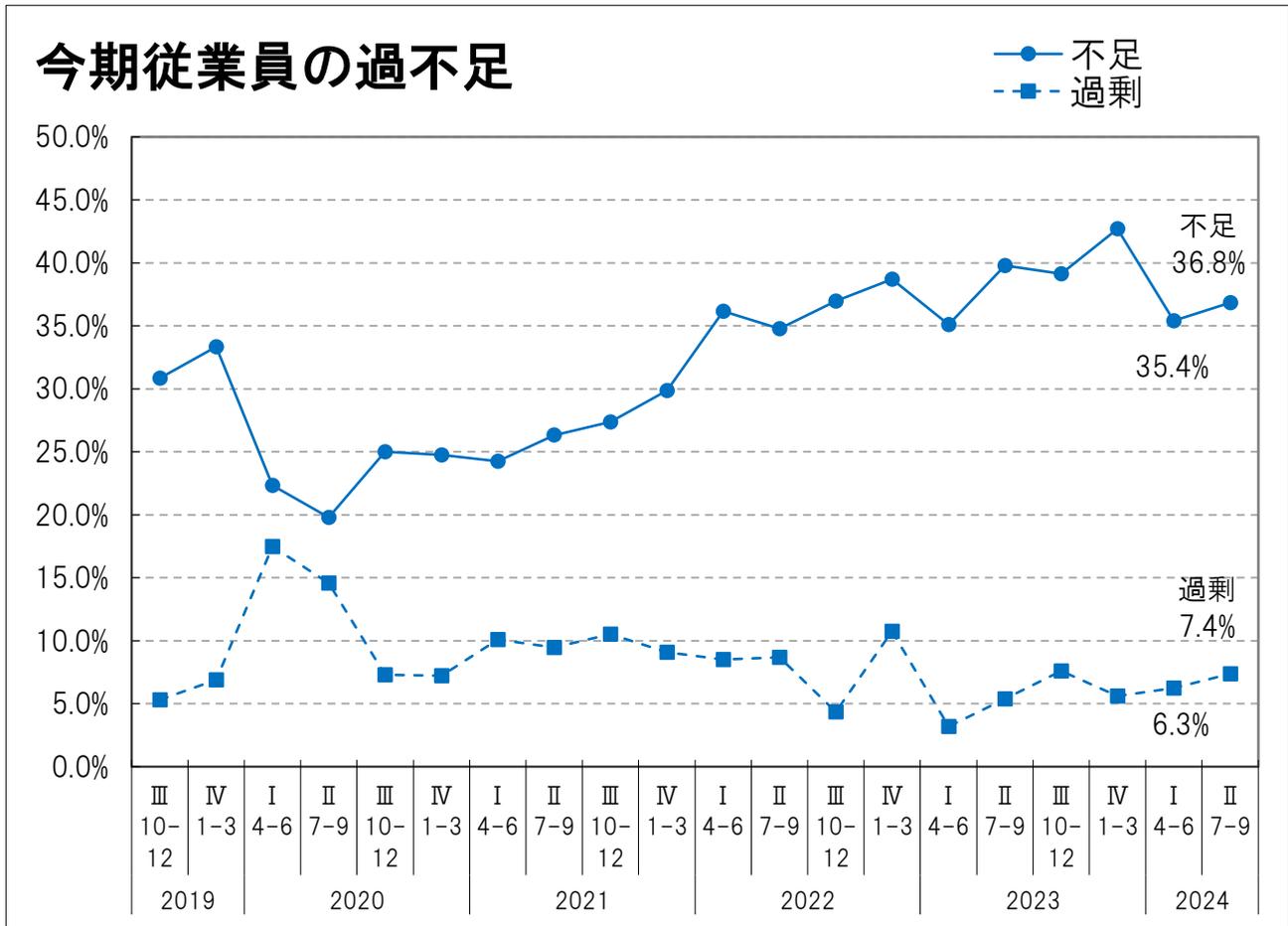
複数回答 単位：件

全業種計	土地	建物・店舗	各種設備	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他	業種計
今期	1 (1)	3 (4)	7 (9)	10 (9)	6 (2)	11 (10)	2 (1)	2 (4)	42 (40)
来期	1 (0)	9 (8)	8 (7)	9 (12)	5 (5)	7 (11)	3 (1)	5 (5)	47 (49)

※カッコ内数字は前回調査(2024 年 4-6 月)分。各種設備は生産設備、販売設備、サービス設備、倉庫設備等

## 3-2. 今期従業員の過不足

- 不足は前期 35.4%から、今期 36.8%に微増
- 適正は前期 58.3%から、今期 55.8%に減少



### ※今期従業員の過不足 業種別内訳

業種	有効回答 事業所数	過剰		適正		不足	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
製造業	21	3	14.3%	11	52.4%	7	33.3%
建設業	13	2	15.4%	3	23.1%	8	61.5%
卸売業	16	0	0.0%	8	50.0%	8	50.0%
小売業	24	2	8.3%	18	75.0%	4	16.7%
サービス業	21	0	0.0%	13	61.9%	8	38.1%
合計	95	7	7.4%	53	55.8%	35	36.8%

### 3-3. 直面している経営上の問題点

#### 【上位課題】

##### 《経費の増加》

前期に続き、全業種で「原材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」等が上位課題となり、物価高騰の影響が継続的に顕著な状況となっており、厳しい現状が窺われる。

##### 《従業員の確保難》

全業種において上位課題となり、人手不足が深刻な課題となっている。

##### 《需要の停滞》

建設業、卸売業、小売業、サービス業で上位課題となっているほか、小売業では「消費者ニーズの変化への対応」が上位課題となっている。

※上位3位までを記載

業種	2024年度 第Ⅱ期 (2024年7-9月)		2024年度 第Ⅰ期 (2024年4-6月)	
製造業	→ 1位	原材料価格の上昇	1位	原材料価格の上昇
	↑ 2位	従業員の確保難	2位	人件費の増加
	↘ 3位	人件費の増加	3位	原材料費・人件費以外の経費の増加
建設業	→ 1位	官公需要の停滞	1位	官公需要の停滞
	↗ 2位	従業員の確保難	2位	材料価格の上昇
	↑ 2位	民間需要の停滞	3位	従業員の確保難
	↘ 3位	材料価格の上昇		
卸売業	→ 1位	仕入単価の上昇	1位	仕入単価の上昇
	↗ 2位	従業員の確保難	2位	需要の停滞
	↘ 3位	需要の停滞	3位	従業員の確保難
小売業	→ 1位	仕入単価の上昇	1位	仕入単価の上昇
	↑ 1位	需要の停滞	2位	店舗の狭隘・老朽化
	↑ 2位	消費者ニーズの変化への対応	3位	購買力の他地域への流出
	↘ 3位	店舗の狭隘・老朽化		
	↑ 3位	従業員の確保難		
サービス業	→ 1位	従業員の確保難	1位	従業員の確保難
	→ 2位	材料等仕入単価の上昇	2位	材料等仕入単価の上昇
	↗ 2位	需要の停滞	3位	需要の停滞
	↑ 3位	熟練従業員の確保難	3位	人件費以外の経費の増加

凡例・・・前期と比べて ↑: 上昇 ↓: 下降 →: 変動無 ↗: やや上昇 ↘: やや下降

## 3-4. 業界の動向に関する各社コメント

### 【製造業】

- ① 新規出店のお客が増えてきたことによる売上の増加。イベント増加なども。
- ② 低金利政策と減税（消費税廃止）を実施すべき。
- ③ 一定の価格転嫁は進んだが、需要は停滞している。
- ④ 値上げ。少しずつ浸透の様子。
- ⑤ 中国経済の低迷による受注減。
- ⑥ 紙の価格は落ち着き、低下傾向にあるがインク類の値上げが始まっている。不採算取引先の解消はじめ、収益力強化を図っているが、脱ペーパーから新規受注が伸び悩み。

### 【建設業】

- ① 即戦力となる人材確保が難しい。
- ② 震災バブルは完全に終了して、現在は震災以前より悪化。（大変厳しい）
- ③ 民間需要の停滞。従業員の高齢化、及び若年者の確保難。

### 【卸売業】

- ① 個人事業主（小規模）では商品開発と販売力に限界があり、売上増加を期待することは難しいと思っている。
- ② 7～9月閑散期。10～12月繁忙期。猛暑のため消費減。
- ③ 仕入単価の上昇。物価上昇のための経費が増加し利益が取りにくい。
- ④ 給与水準が相対的に低下したこと等による人材流出が顕著。
- ⑤ 飲食を中心とした業務用酒販店の回復も落ち着いてきた。相変わらずスーパーは苦戦している。昨年はアルバイトや社員募集の問い合わせが少なかったが、少しずつくるようになった。
- ⑥ 前年同期、前期が非常に悪かったため、比較した場合、業況は好転した。
- ⑦ 運送会社より配送コストの値上げ要請を受けている。

### 【小売業】

- ① 少子高齢化による市場縮小及び、人材確保難。

### 【サービス業】

- ① 人流がコロナ禍以前の水準に戻っていない。人件費の高騰（最低賃金の急激な上昇）。
- ② 全ての料金改正し、一律300円アップ。客単価が5800円位になりつつある。これを継続し、増客につなげたい。従業員が見つからない。
- ③ スタッフの人手不足。若手社員の退職。
- ④ 福島市中心部のオフィス、店舗等の事業用物件の需要が低下。市の補助金（工事費・家賃）を活用した出店が多少見られる。